

全 仏

NO. 226

3 / 52



確実な前進

この新聞が発行される頃には、第十二回世界仏教徒会議日本大会開催まで、五八〇日弱となっている。

過去十一回、タイ国で三回、スリランカで二回すでに開かれ、日本で開催すべき客観的情勢は、種々の面でととのったといえるであろう。

そして、やるからには国の総力をあげての運動を展開し、大いなる成果をあらしめる大会にせねばならない。

この際、仏教徒が私心を忘れ、仏教という共通の広場に集い、未来への方向を見出し出せば、これにまさるものはない。

何か大きな目標をかかげ、それに向って、歩みはのろくてもいいしかし確実に前進することが、必要なことではなからうか。

写真は京都ホテルで行われた全仏の理事会・評議員会
二、三の記事参照

全日仏の定例会議

常務理事会など開く

全日本仏教会では、一月二十六日午前十時より、京都ホテルにおいて常務理事会、宗務総長会、理事会・評議員会を各々開催し、昭和五十一年度事業計画・歳入歳出予算や第十二回WFB日本大会などの議案を上程、それぞれ慎重に審議がなされた。

52年度事業計画、予算きまる

常務理事会

常務理事会は午前十時より三階「ルイの間」において、常務理事総数二十名中出席者十二名、委任状提出者六名をもって開かれ、議長に田辺哲崖理事長、議事録署名委員に松村寿頭(日蓮宗)、野村宗春師(浄土宗)を選出し議事に入った。

議案第一号「人事異動について」
左記の理事一名、評議員十名の新任を承認。

- 評議員 島田信了 高知県仏 1・26
- 熊谷隆正 岩手県仏
- 越智憲英 愛媛県仏

- 理事 縮川聖土 島根県仏
- 大島見道 埼玉県仏
- 久山忍堂 相国寺派
- 西村日地 本門仏立
- 栗田伸美 曹洞宗
- 鎌原佑元
- 小林慶存 天台寺門
- 池島得宝 融通念仏
- 評議員 久山忍堂 相国寺派
- 西村日地 本門仏立
- 栗田伸美 曹洞宗
- 鎌原佑元
- 小林慶存 天台寺門
- 池島得宝 融通念仏
- 議案第二号「昭和五十一年度事業計画について」(三号議案と一括審議)
- 議案第三号「昭和五十一年度歳入歳出予算について」
- 島田庶務部長、小峰財務部長よりそれぞれ原案を説明し承認された。
- 議案第四号「第十二回世界仏教徒会議日本大会について」
- WFB事務総局長の麻布照海師紹介と



慎重に討議をかさねる宗務総長会

宗務総長会

宗務総長会は午前十一時より同「ルイの間」で開かれ、常務理事の議案と同じく、議題として「昭和五十一年度事業計画について」、「昭和五十一年度歳入歳出予算について」、「第十二回世界仏教徒会議日本大会について」がだされ、それぞれ慎重に討議がなされた。

換抄のあと、鎌田国際部長より予算案・組織表について説明、それぞれ承認された。

(出席者) 松村寿頭、江野野、熊野、西寛堂、野村、神田寛雄、野村、神田寛雄、野村、宗春、田辺哲崖、別所弘因、嶺藤、亮、稲岡寛順(代)、芳賀達宗(代)、貝山、宣泰

(出席者) 松村寿頭、田辺哲崖、江野野、味岡良成、桜井景雄、神田寛雄、浅井自香、西村日地(代)、藤田俊教、熊野竜夫、池田登輝、神原玄祐(代)、嶺藤、亮、中井禅隆(代)、真枝真慧、別所弘因、山本勝隆、青木法鷹、立部端祐(代)、長谷川靈信(代)、岩城秀雄、川原快俊、稲岡寛順(代)、北河原公典

理事会・評議員会

理事会・評議員会は午後一時半より三階「あげほ」で同時に開かれた。評議員会は評議員総数百七十六名中、出席者五十八名、委任状提出者六十一名をもって開かれ、田辺理事長挨拶のあと議長に木辺宣慈師(滋賀県仏会長)、議事録署名委員に藤田教忠(日蓮宗)、米山泰龍(妙心寺派)の両師をそれぞれ選出、日程を一部変更し、一号議案の前に報告事項1を取扱い議事に入った。

報告事項1「人事異動について」
過去一カ年に異動のあった理事・評議

WFBJB日本大会負担金などを承認

員二十七名、事務局人事八名について報告。

議案第一号「昭和五十二年度事業計画について」(二号議案と一括審議)

議案第二号「昭和五十二年歳入歳出予算について」

一号議案は島田庶務部長、二号議案は小峰財務部長より事務局案を説明。会議費、資料収集費、時局対策費などの予算削減は、WFB大会をひかえ通常会計をおさえ、それにもなう事業計画の圧縮などの事情を説明し了承され、一号・二号議案は一括承認された。

議案第三号「第十二回世界仏教徒会議日本大会について」

先の常務理事会で承認されたWFB事務総局長の麻布照海師を紹介、麻布師挨拶。安藤次長が経過報告、来馬国際文化局長が予算および組織表を説明のあと、負担金納入、勧募方法などについて質疑

新年度歳入歳出予算の内容

昭和五十二年度の事業計画ならびに歳入歳出予算は、前述議案のとおり事務局原案が承認された。

事業計画 別項掲載の通りほぼ前年度を踏襲しているが、第十二回WFB日本大会を翌年にひかえるため、その準備ならびに予算の関係から、事業縮小を余儀なくされた局もある。第二十五回全日本仏教徒会議は十月に浦和市で開催のため埼玉県仏と緊密な打ち合せをすすめる準備に入っている。未加盟団体の加盟促進に

全第3種郵便物認可 仏可

がなされ「負担金については二年度にわたって消化してもらい初年度に二分の一以上、三分の二程度を期待している。勧募についてはなお委員会が研究する」ということで、全員一致で承認された。

評議員会の同意を得た原案を承認。議案第二号「昭和五十二年度歳入歳出予算について」

評議員会の同意を得た原案を承認。議案第三号「第十二回世界仏教徒会議日本大会について」

評議員会の同意を得た原案を承認。

ついては、特に未加盟の県仏組織化に力を注ぐ。また日本仏教文化会議は新しいテーマによって開催される。

歳入歳出予算 歳入歳出とも四千五百五十九万七千円で承認されたが、WFB大会開催をひかえ宗派・団体の負担金据置のため、前年度より五十九万五千円の増でしかない。これは仏教伝道協会の加盟や雑収入等の増による。歳出では事務局局費三千四十八万円、総務局費三百六十五万円、組織局費四百

四十万円、国際文化局費六百五十万円となっている。

前年度とはほぼ同額予算の中では、人件費・渉外費・機関紙発行費などが多少の増額となっているが、会議費・組織強化費・時局対策費・国際運動費・教化費などが目立って減額となっている。

新年度事業計画各局の内容

総務局

基本目標 本会寄付行為第五条により各種の事業遂行に必要な措置を講ずる

実施項目 (1)加盟団体との連絡提携の強化 (2)諸官庁および関係諸団体との連絡 (3)過年度(前年度を含む)採択事項の実施(担当事項)

組織局

基本目標 本会寄付行為第五条の事業目的たる仏教運動の実践および育成を主にし、時代に即応した全一仏教運動を強く推進すると共に構成団体の一層の強化と団結を期するため下記の事業を実施する

実施項目 (1)第二十五回全日本仏教徒会議(各種代表者会議)の開催 (2)未加盟団体の加盟促進 (3)ブロック別各県仏教会代表

寺院用具

浅草通り五鳳会加盟店

株式会社 決田商店

東京都台東区寿2-10-9 (地下鉄田原町駅前)

電話 代表 (841) 4965

者会議の開催

- (4) 地方仏教運動の推進、地方仏教徒大会、講演会等へ協力
- (5) 各地檀信徒会の充実と全国組織化の推進
- (6) 時局対策
- (7) 過年度採択事項の実施(担当事項)

国際文化局

基本目標 本会の寄付行為第五条の事業目的たる世界各国のWFBセンターおよび仏教諸団体との連絡、文化交流を中核として仏教による国際親善と世界平和の実現を期する。また仏教運動の総合的企画促進、各種仏教運動の実践育成ならびに

—国際部—
実施項目

広報活動を活発に行うことにより、よって全一仏教運動の促進をはかる

- (1) WFB関係
- (2) 本部で決議された事項の実施

- (3) WFB第十二回日本大会準備、WFB常任理事会、ユネスコ会議等への出席および代表派遣
- (4) その他必要な事項

- (5) 国際仏教交流関係
- (6) 臨時に行われる国際会議または巡拝団等への代表派遣
- (7) 訪日仏教徒の歓迎接待

- (8) 在日各国公館との連絡接渉
- (9) 海外における各宗派開教本部との連絡提携
- (10) 各国の天災戦災等に対する救援活動

- (11) その他必要な事項
- (12) 渉外広報関係
- (13) 英文日本仏教ニュースの刊行企画

- (14) その他必要な事項
- (15) 過年度採択事項の実施(担当事項)

—文化部—

実施事項

- (1) 機関紙「全仏」の発行普及
- (2) 日本仏教文化会議の企画および開催
- (3) 各種教化資料の作成と普及

- (4) 花まつりポスター等

にぎやかに新年懇親会

全日仏、90名が出席して



- (4) その他広報宣伝に関する事項
- (5) 過年度採択事項の実施(担当事項)

全日本仏教会の新年懇親会は、一月二十六日、京都ホテルにおいて常務理事会などに引き続いて四時から九十名が出席し、滝組織部長の司会ですすめられた。

鯉淵事務総長の開会の辞、西口公教園分寺派管長の三帰依文唱和のあと、望月日滋副会長(日蓮宗)の挨拶、自民党総務局長・奥野清亮氏(元文部大臣)の祝辞があり、浄土真宗本願寺派・大谷光照門主の乾杯で裏に入った。スピーチは各宗派管長・宗務総長、県仏会長がつぎつぎに立って年頭所感を述べ、東京都仏教司博道事務局長の音頭で全日仏の弥栄と第十二回WFB日本大会の円成を祈って万歳三唱、安藤事務次長の閉会の辞で散会した。

【写真は新年懇親会の交歓】

真の合掌の心を生む御仏像を

檜の一刀彫聖観世音菩薩

今日の空しいことの多い人間社会の中で、仏の偉大な力を授かるうとする人々は数多くおります。そんな時、我が心の寺院が、戦前戦後の混乱期に、尊い御尊像を失って、魂こそ残ってはいますが、お姿の見られない、という話を聞きます。ここに当協会の長年の指導のもとに観仙一門が心血を注いで謹刻しました一灯、一華を献じさせられる気持になる聖観世音菩薩立像です。限定木彫として、宗教法人の皆さまに格安にて御奉仕させていただきます。

お申込み方法は電話又はハガキでお問い合わせ下さい。

受付電話

東京03(八二六)五六四一



全長 84cm (2.75尺)
材質 檜
価格 ￥ 320,000

日本彫塑普及協会御尊仏奉仕部

〒113 東京都文京区白山一―三―一―二〇三号

電話03(八二六)五六四一

昭和52年度財団法人全日本仏教会歳入歳出予算書

歳入 金45,597,000 歳入予算高
 歳出 金45,597,000 歳出予算高
 歳入歳出差引残高なし

(歳入の部)

科 目			予 算 額	前 年 度 予 算 額
款	項	目		
1.	負 担 金		40,193,000	40,344,000
	1.	各 宗 派 各 負 担 金	35,967,000	36,208,000
	2.	各 団 体 各 負 担 金	4,226,000	4,136,000
2.	寄 附 金		200,000	200,000
3.	未 納 徴 収 金		300,000	300,000
4.	基 金 果 実		990,000	990,000
5.	雑 収 入		800,000	400,000
6.	繰 越 金		3,114,000	2,768,000
歳 入 計			45,597,000	45,002,000

(歳出の部)

科 目			予 算 額	前 年 度 予 算 額
款	項	目		
1.	事 務 総 局 費		30,480,000	27,980,000
	1.	人 件 費	19,400,000	16,900,000
		1. 職 員 俸 給	7,800,000	7,500,000
		2. 諸 給	9,700,000	7,700,000
		3. 厚 生 費	1,100,000	700,000
		4. 退 職 積 立 金	800,000	1,000,000
	2.	事 務 費	4,380,000	5,180,000
		1. 借 館 借 室 費	1,680,000	1,680,000
		2. 通 信 費	1,200,000	2,000,000
		3. 消 耗 品	200,000	200,000
		4. 光 熱 費	350,000	350,000
		5. 備 品 費	300,000	300,000
		6. 印 刷 費	400,000	400,000
		7. 諸 雑 費	250,000	250,000
	3.	旅 費	2,000,000	2,000,000

科 目			予 算 額	前 年 度 予 算 額
款	項	目		
1.	事 務 総 局 費		1,700,000	1,700,000
	4.	関 西 事 務 局 費		
	5.	渉 外 費	3,000,000	2,200,000
2.	総 務 局 費		3,650,000	3,530,000
	1.	会 議 費	1,450,000	1,580,000
		1. 理 事 会 費	400,000	330,000
		2. 評 議 員 会 費	150,000	370,000
		3. 各 種 委 員 会 費	300,000	430,000
		4. 諸 会 議 費	600,000	450,000
	2.	共 通 事 項 処 弁 費	1,800,000	1,600,000
	3.	調 査 研 究 費	400,000	350,000
3.	組 織 局 費		4,400,000	4,800,000
	1.	組 織 強 化 費	3,900,000	4,000,000
		1. 組 織 強 化 費	1,000,000	1,000,000
		2. 国 内 仏 教 徒 会 議 費	2,900,000	3,000,000
	2.	時 局 対 策 費	500,000	800,000
4.	国 際 文 化 局 費		6,050,000	7,100,000
	1.	国 際 運 動 費	950,000	2,750,000
		1. W F B 関 係 費	100,000	1,900,000
		2. 国 際 仏 教 交 流 費	450,000	450,000
		3. 国 際 渉 外 費	400,000	400,000
	2.	文 化 会 議 費	1,500,000	1,500,000
		1. 文 化 会 議 費	900,000	900,000
		2. 紀 要 作 成 費	600,000	600,000
	3.	教 化 費	100,000	350,000
		1. 教 化 諸 費	100,000	350,000
	4.	機 関 紙 発 行 費	3,500,000	2,500,000
5.	雑 費		100,000	100,000
6.	予 備 費		917,000	1,492,000
歳 出 計			45,597,000	45,002,000

第12回世界仏教徒会議日本大会予算書

収入 金 266,844,000円 収入予算高
支出 金 266,844,000円 支出予算高

収入支出 差引残高なし

(収入の部)

款	項	予 算 額
1. 加盟団体協力金		40,344,000
	1. 宗 派	36,208,000
	2. 都道府県仏	3,136,000
	3. 諸 団 体	1,000,000
2. 協 賛 金		111,500,000
	1. 特別寺院協賛金	41,500,000
	2. 一般寺院協賛金	50,000,000
	3. 仏教徒協賛金	20,000,000
3. 寄 附 金		110,000,000
	1. 実業界寄附金	100,000,000
	2. その他寄附金	10,000,000
4. 雑 収 入		5,000,000
計		266,844,000

(支出の部)

科 目		予 算 額
款	項 目	
1. 事務局費		63,500,000円
	1. 事 務 費	8,500,000
		1. 交 通 費 2,000,000
		2. 通 信 費 2,000,000
		3. 印 刷 費 2,000,000
		4. 需 用 費 1,500,000
		5. 雑 支 出 1,000,000
	2. 人 件 費	20,000,000
		1. 諸 給 17,000,000
		2. 臨時雇員費 3,000,000
	3. 会 議 費	5,000,000
		1. 総 会 費 1,000,000
		2. 理事会費 300,000
		3. 評議員会費 300,000
		4. 委員会費 2,000,000
		5. 局内会費 800,000
		6. 諸会議費 600,000
	4. 勸 募 費	7,000,000
		1. 勸募事務費 500,000
		2. 勸募諸費 6,500,000
	5. 広 報 費	10,000,000
		1. ポスター作製費 7,000,000
		2. 広報活動費 3,000,000

科 目		予 算 額
款	項 目	
	6. 渉 外 費	2,000,000
	7. 資 料 費	10,000,000円
		1. 議事録費 7,500,000
		2. 会議資料費 2,500,000
	8. 雑 費	1,000,000
2. 大会費		48,000,000
	1. 会 議 費	7,000,000
		1. 会 場 費 3,000,000
		2. 設 営 費 2,000,000
		3. 運 営 費 2,000,000
	2. 歓迎大会費	15,000,000
		1. 会 場 費 3,000,000
		2. 設 営 費 4,000,000
		3. 法 要 費 1,000,000
		4. アトラクション費 5,000,000
		5. 運 営 費 2,000,000
	3. レセプション費	6,000,000
	4. 記念品費	15,600,000
	5. 通 訳 費	1,000,000
	6. 資 料 費	2,000,000
	7. 本 部 費	400,000
	8. 雑 費	1,000,000
	3. 外国代表接待費	39,200,000
		1. 宿 泊 費 20,800,000
		2. 交 通 費 10,000,000
		3. 記念品費 1,300,000
		4. 接 待 費 3,500,000
		5. 保安保険費 2,000,000
		6. 雑 費 1,600,000
	4. 記念事業費	100,000,000
		1. 日本WFBセンター施設基金 56,000,000
		2. ルンビニ整備援助金 5,000,000
		3. 記念出版費 10,000,000
		4. 仏教英語学生養生費 10,000,000
		5. 仏教交流基金 4,000,000
		6. 諸 事 業 費 15,000,000
	5. WFB理事会費	3,000,000
	6. 予 備 費	13,144,000
	計	266,844,000

WFB大会予算決る

総額二億六千六百万円

第十二回世界仏教徒会議日本大会（以下WFB日本大会）は昭和五十三年十月に、東京・京都において開催されるが、その大会予算が一月二十六日に京都で開かれた常務理事会、理事会、評議員会で承認された。

すでに大会開催決定に至るまでの経過および準備状況等は「全仏」誌上に掲載しているが、大会予算の承認によりWFB日本大会事務局をはじめ実行委員会も実動体制に入るべく鋭意努力をしている。

承認されたWFB日本大会予算は別表のとおり、総額二億六千六百八十四万四千円。収入面では寺院・仏教徒からの協

バン格拉救援寄金

三万円

田島ちどり（埼玉）

一万円

原口徳正、近藤製作所、中村静子（東京）

九千七百七十七円

翁の会（東京）

五千円

押尾真司（東京）

賛金、実業界等からの寄付金のほかに、全日仏加盟の宗派・県仏・諸団体にも協力をお願いする。この協力は昭和五十一年度の全日仏負担金と同額を二年間に亘って納入してもらうわけで、特に一年目に半分以上より三分の二程度をお願いする。また寺院・仏教徒の協賛金について

バングラディッシュの孤児に愛の手を!!

バングラディッシュは、印パ戦争の影響や、モンスーンなどの天災によって大きな被害をうけ、おびただしい難民に混じって、幾多の孤児が飢えと病いに苦しんでおります。

ダッカとチッタゴンに在る「仏教孤児院」には四百名にのぼる孤児が収容され、仏教教育をうけ、リハビリテーションを通じて、社会復帰に努力しておりますが、日常の食糧、衣類、薬品にいまなお相当の欠乏を見ており、そのうえ孤児院に入れない孤児がまだまだ多数いるという窮状を、同じ仏教徒として黙視し得ない現状であります。何卒これら幾多の孤児救済のために皆様の善意を伝達いたしたく、救援資金の募集をいたしておりますので、御

てはそれぞれご賛意下さるようお願いいたします。

支出面では大会費の項で、会議、歓迎大会、レセプション、記念品等にわけられているが、歓迎大会は武道館を予定し、会議・レセプションは東京・京都とでそれぞれ予定されている。

大会組織について

WFB日本大会の事務局は総務局（庶務部、企画部、記念事業部）、財務局（勸募部、経理部）、渉外局（渉外部、広報部）、運営局（式典部、会議部、接待部）の四局・十部から組織される。ま

協力下さるよう伏してお願ひ申し上げます。

目的

バングラディッシュ国ダッカ市在ダンマラージカ仏教孤児院・チッタゴン市在アグラサラ仏教孤児院に対する

送金先

東京都台東区西浅草一の五の五（財）全日本仏教会事務総局
振替 東京2・59547
（財）全日本仏教会

口座 東海銀行浅草支店
一三五一四三七 全日本仏教会・鎌田良昭

主唱 財団法人 全日本仏教会

た実行委員会は接待、会議、式典、広報、渉外、経理、勸募、記念事業、総務の九委員会からなり四月二日に始動する。

準備小委員会にて二つの案件を協議

第十二回世界仏教徒会議（WFB）日本大会準備委員会小委員会（麻布照海委員長）は、二月十七日午後一時半より、全日仏会議室において、次の案件について協議した。

1、大会テーマ選衡委員選出の件
数名の委員を選出してという意見もだされたが、準備小委員会全員がこれにあたるということご了承。

2、勸募趣意書作製の件
A) 寺院向け・若林隆光師を起草委員長として近々起草委員会を開き具体化する。
B) 一般向け・真深義貫師を起草委員長として、二月二十五日に起草委員を招集し協議する。

なお三月十二日午後一時半より準備委員会全体会議、三月十六日に関東甲信越靜県仏代表者会議を開く。

掲示板

天台宗新人事

▼天台宗では神原玄祐宗務総長の任期満了により、新しく中里徳海師が総長に任命された。新内局人事は次のとおり。

宗務総長・中里徳海、財務部長・高橋良嶋、教学部長・小泉即俊、庶務部長・

杜多信雄、総務室部長・小林隆彰

頭本法華宗管長就任式

▼頭本法華宗では能仁日法管長の任期満了にともない、新管長に島田日憲殿下が推薦され、その就任式が一月二十七日、総本山妙満寺(京都)において執行された。

臨濟宗建仁寺派新人事

▼臨濟宗建仁寺派宗務本院では内局の任期満了により左記の人事が発表され、宗務を担当することとなった。

(宗務総長) 伊藤東慎 (財務・法務部長) 小野琢道 (庶務・教学部長) 野田文外

国分寺派住居番号変更

二十五日 埼玉大会準備委員会(全仏)

花まつりポスターをご利用下さい

花まつりの行事は年々盛大に繰り広げられておりますが、さらに全国的に浸透

せしめるために、全日本仏教会では写真のような統一したポスターを作成し、広くご利用いただけるよう頒布しております。

4月8日はお釈迦さまのお誕生日
花まつり



明るい春の野に、静かに立って天と地をさすお釈迦さまの姿は、見る人の心に安らぎを与えることと思えます。本年も各県仏都市仏各寺院・幼稚園などで広くご利用下さい。
◎一枚百円(三十枚以上は送料全日仏負担—外国は別途)

▼真言宗国分寺派宗務庁では住居表示の実施により左記の通り変更となった。

大阪府大淀区国分寺一(六)の一八
なお大阪府仏教会事務局も同番地。

事務局録事(二月)

- 五日 局内会議
- 九日 局内会議
- 十二日 仏教婦人訪米団出発
- 十六日 WFB事務局へ引継会議
- 十七日 WFB準備小委員会
- 十九日 仏教婦人訪米団帰国
- 二十一日 局内会議
- 二十四日 埼玉大会準備委員会(全仏)

美しい日本の、国債。

宗教法人の皆さま、大切な資産運用に国債をご活用になりませんか。国が発行する債券ですから、もちろん安全確実。さらに宗教法人は免税団体ですので利息は非課税扱いになり年8%の大きな利息が、そっくり10年間、確保されます。また短期の資産運用をお考えなら、短期間でも有利な既発国債も利用できます。皆さまの資産運用が明日の国づくりにも役立ち、一石二鳥。ぜひ、今後の資産運用の柱に、国債をご検討ください。

野村證券

〒103 東京都中央区日本橋1丁目
電話 (03)211-3811(大代表)

昭和五十一年三月一日発行
三月号第一二一六号

発行人 齋藤正浩
編集人 来馬正浩
発行所 財団法人

全日本仏教会

東京都台東区西橋本一ノ五ノ五(東京本願寺内)
電話 〇三(八四三)六三三〇